【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公開番号】特開2013-110493(P2013-110493A)
【公開日】平成25年6月6日(2013.6.6)
【年通号数】公開・登録公報2013-028
【出願番号】特願2011-252354(P2011-252354)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｈ　9/24　(2006.01)
Ｈ０３Ｈ　9/46　(2006.01)
Ｈ０３Ｂ　5/30　(2006.01)
Ｂ８１Ｂ　3/00　(2006.01)
Ｈ０２Ｎ　2/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｈ　9/24　Ｚ
Ｈ０３Ｈ　9/46　Ｚ
Ｈ０３Ｂ　5/30　Ｚ
Ｂ８１Ｂ　3/00
Ｈ０２Ｎ　2/00　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成26年10月22日(2014.10.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基板と、
前記基板の上方に配置されている第１電極と、
前記第１電極との間に空隙を有する状態で配置され、前記第１電極との間の静電力によって前記基板の厚み方向に振動可能となる梁部、および前記梁部を支持する支持部を有する第２電極と、
を備え、
前記第２電極は、前記梁部を複数有する、ＭＥＭＳ振動子。
【請求項２】
複数の前記梁部は、振動の周期が互いに揃っている、請求項１に記載のＭＥＭＳ振動子。
【請求項３】
複数の前記梁部は、振動の位相が互いに揃っている、請求項１または２に記載のＭＥＭＳ振動子
【請求項４】
複数の前記梁部は、前記支持部から延出している方向が互いに揃っている、請求項１ないし３の何れか１項に記載のＭＥＭＳ振動子。
【請求項５】
複数の前記梁部は、長さが互いに揃っている、請求項１ないし４の何れか１項に記載のＭＥＭＳ振動子。
【請求項６】

前記第２電極は、前記梁部の一端が前記支持部で固定された片持ち梁状に形成されている、請求項１ないし５のいずれか１項に記載のＭＥＭＳ振動子。
【請求項７】
前記第２電極は、前記支持部を複数有する、請求項１ないし６のいずれか１項に記載のＭＥＭＳ振動子。
【請求項８】
請求項１ないし７のいずれか１項に記載のＭＥＭＳ振動子と、
前記ＭＥＭＳ振動子の前記第１電極および前記第２電極と電気的に接続されている回路部と、
を備えている発振器。